

## 編集後記

本学は、2003年4月に日本唯一のスポーツスポーツ大学として開学した。開学からはや7年が過ぎようとする中、その研究活動の成果を昨年に引き続き、ここに研究紀要第7号としてまとめ発行できたことは大きな喜びであり、ご協力頂いた方々に対し厚く御礼申し上げたい。

研究紀要第7号は、課題研究論文、自由研究論文、研究報告、アカデミックアワー研究報告、参考文献・資料紹介から成っている。

課題研究論文として競技スポーツ学科からは「チャンピオンスポーツと学生スポーツ」をテーマに座談会を開き、その内容を1篇にまとめた。また、座談会の内容を踏まえ「BSSCにおけるチャンピオンスポーツの現状と課題—学生スポーツを考える—」を共通テーマに、本学のスポーツ競技現場で指導するコーチングコース教員が5篇の短編を執筆した。

生涯スポーツ学科からは、「『スポーツ環境学』について」をテーマに、環境工学、環境教育学、環境医学（運動衛生学）の知見から3篇の論文を各コース教員が執筆した。

自由研究論文については紀要編集規程に基づく慎重な査読・審査の結果、2篇の論文が採択され掲載に至っている。また、研究報告は3篇の論文を掲載し、今年度から新たな試みとして学内で行われているアカデミックアワーでの発表内容を、一人2枚にまとめアカデミックアワー研究報告として16篇を掲載した。最後に参考文献・資料紹介として3篇を掲載し、大変ボリュームのある1冊として仕上がっている。

なお、投稿原稿については下記の方々に査読をお願いした。忙しい中、査読をお引き受け頂いた方々に、厚く御礼を申し上げます次第である。

本委員会では、今後、研究紀要のさらなる充実と発展を図るための活動に取り組んでいく所存である。第7号に対する忌憚のないご意見をいただければ幸いである。

### 査読者氏名

青木豊明, 新井博, 海老島均, 佐々木直基, 志賀充, 清水毅四郎, 白木孝尚, Steve Jugovic, 佃文子, 中村亜紀, 南島永衣子, 吉田政幸, 若吉浩二

紀要編集委員会委員長 若吉 浩二